

外部評価(事業仕分け)結果にかかる市の対応方針

事業番号	8	事務事業名	地域活動活性化事業	担当課	生涯学習課
評価結果	田川市現行どおり		市の対応方針	改善	
外部評価 (事業仕分け)時の意見、要望など	<p>【外部評価(事業仕分け)における議論時の意見、要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民がお金をもらわなくても自分達でできるよう、過疎債をカンフル剤にする必要がある ・他所では中学校区の下に小学校区や区、その下に班等を付けてそれぞれ役割を持たせている。そのような役割分担や従来の区との整理を図る等の検討が必要 ・他所では市内居住にこだわらず、行政の管理職を各校区に充てる取組みを行っているところもある ・過疎債と言っても借金。失効した6年後にも同じことができるか。またごく一部の意見に偏らず、住民の合意が広く得られているか ・過疎債は一度貰ってしまうとやめられないと言われている。事業を精査する必要がある。交付税は下がる見込みとなっており、下げるところは下げる努力が必要 ・住民が他の校区のチェックを行う仕組みも検討すべき。そうすると職員の負担も減る ・しばらくは関与するが、将来的には地域に任せるといふ計画が必要 ・自治能力醸成にどの程度資しているか。市が今直営していたり、民間委託しているものを協議会に担ってもらえるような組織になっているか。また、区の位置付けとの関係を整理すべきでは 				
	<p>【評価シート記載コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他事業との連携により、更なる効率化、成果の向上が見込める。その点での検討が必要。 ・協議会の意思決定は、地域住民の各層の代表が出て意見を出すべき ・自治能力を高めるには、補助金のチェックを職員から民間(他区の住民)にシフトすることも必要 ・地域コミュニティ活動の強化という点では、自治区の活動とリンクすることがありませんか？事業の目的がひとつであれば、統合されるべきでは？ ・目的を達成すべく、充実かつ適切な取組みを推進すべき ・住民のフィードバック(よく話し合う)を受けながら進める！ ・今後の見通しを明確に行う等、細分化が必要であるかと ・ある程度、金額等の動きの自由幅があるので、これを利点として活かしてください ・お金を少し削減しては。 				
行政改革 推進本部 決定内容	<p>【事業の手法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、自治会と校区活性化協議会の役割が明確になっていないため、様々な場面で「窓口はどこか」といったことで混乱するケースが見受けられる。総務部と教育委員会が連携を図り、窓口一本化に向け、まずは行政のイニシアチブのもと、自治会と校区活性化協議会のそれぞれの役割を整理する。 				
	<p>【翌年度予算について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌年度予算には反映しない。 <p>【その他】</p>				